

電子納品要領等改定の主なポイント

1. i-Constructionに係る電子データの納品（ICON フォルダの追加）

〈土木〉

i-Construction の展開に伴う ICT 技術の全面的な活用に対応した測量・設計・施工・出来形管理等のデータを格納するためのデータフォルダ「ICON」を追加しました。格納するデータ、フォルダ構成等については関連要領等に従い作成してください。

2. 拡張子が 4 文字のファイルへの対応

〈土木・電通・機械共通〉

ワープロソフト等で保存するファイルは、拡張子が 4 文字となるものが普及している状況を踏まえて、報告書のオリジナルファイル等、データを作成したソフトウェア独自の形式で格納するファイルの命名規則を、ファイル名 8 文字、拡張子 4 文字以内、区切り文字の“.”と合わせファイル名全体で 13 文字以内としました。

これに伴い、CD-R の論理フォーマットを ISO9660（レベル 1）から Joliet としました。

3. 圧縮図面ファイルへの対応

〈土木・電通・機械共通〉

SXF (P21) 形式の図面ファイル（SAF ファイルやラスタファイルが添付される場合はそれらを含む）を ZIP 方式により圧縮し、拡張子を「P2Z」とした SXF の圧縮形式を追加しました。

4. 測地系 JGD2011 への対応

〈土木・電通・機械共通〉

測地系の区分に JGD2011 を追加しました。

5. 発注用レイヤの追加

〈土木・電通・機械共通〉

CAD 製図基準（土木・電通・機械）で規定されるレイヤー一覧に、発注図の作成において指示事項・注記・旗上げ・ハッチング等を作図するための、全工種・全図面種類共通で使用可能な「発注用レイヤ：C-ORD, C-ORD--XXXX（XXXX は日本語を含む任意）」を追加しました。（工事完成図作成の際には発注用レイヤの図形要素は削除するか、規定のレイヤに移動して残さないでください。）

6. 電子媒体の規定を変更

〈土木・電通・機械共通〉

使用する電子媒体はCD-Rを標準とし、DVD-Rは協議のうえ使用可としていましたが、DVD-Rも標準使用可とし、協議することなく使用可としました。データ容量により、適宜 CD-R、DVD-R を選択してください。

また、土木については、i-Construction に係るデータは容量が大きくなることが想定されるため、納品媒体として、協議のうえ BD-R(Blu-ray Disk Recordable)を使用可としました。

7. 電子媒体ケースの背表紙表記の規定を廃止

〈土木・電通・機械共通〉

納品する電子媒体を収納するケースの背表紙に、業務名/工事名・作成年月を明記する規定を廃止しました。

8. デジタル写真の画素数

〈デジタル写真管理情報基準〉

写真管理基準(案)と整合をとり、デジタル写真の有効画素数を 100～300 万画素程度としました。

9. 引用参照している情報の更新

〈土木・電通・機械共通〉

策定時点から、引用参照している情報を更新しました。主に以下の項目の時点修正を行っています。

- ・ 地図閲覧サービスの地理院地図への移行
- ・ 発注機関コード、住所コード、業務キーワード、業務分野コード
- ・ 参照 URL
- ・ SXF ブラウザ提供終了に伴う SXF ビューア等の使用